

「今どきクリスチャン結婚事情

～ご指導は、テモテを活かしたパウロにならって」

2021.7.13 JECA春日井聖書教会・協力牧師 水谷潔

聖書箇所：テモテの手紙第二 1章3～8節

1. 結婚問題には、世代間の壁が

- ・パウロとテモテの世代間ギャップ

パウロ：テモテ＝肉食系ど根性伝道者：草食系ヘタレ伝道者

パウロ：テモテ＝親、ベテラン世代の教職夫妻：結婚を願ういまどき青年たち

- ・結婚についての世代間ギャップは課題、そこで、テモテを活かしたパウロにならう
テモテを活かしたパウロのアプローチ

- ① 感謝と愛を示し（3,4節）→②先に長所を指摘した上で（5節）→③お願いモードで注意（6節）→④克服の指針を示し（7節）→⑤大きな期待を伝えて励ます（8節）

テモテ世代を潰すパウロ世代のアプローチ

- ① 失望と責めで始め、→②先に欠点を指摘した上で、→③否定とダメ出しで注意→④根性論、精神論に終始し→⑤最後に失望を伝えて意気消沈させる

- ・パウロ世代の経験と恵みの「残像の再現」をテモテ次世代に押し付けやすい傾向
（青年の失望、上の世代との対話回避）
次世代を理解、心情に寄り添い、具体的指針を提示し、現実的な支援ができれば

2. テモテ世代へのご理解を

- ① テモテ世代のメンタリティー

豆腐メンタル、傷つくことの回避が最優先？自分から告白する男性は？一方の女性は？

- ② テモテ世代の結婚事情の理解

一般社会同様、30歳を過ぎると自然な出会いは稀、

好ましいクリスチャン男性の多くは20代で結婚、相手にスペックを求めると苦戦

- ③ テモテ世代の現状理解

「祈って奉仕していれば・・・」は過去のこと、具体的努力が不明、あるいは傷つくのが怖い、同じ教会・団体の異性と→無理、選択肢狭すぎ、超教派、有料支援に対しての否定的評価

その結果、起こっていることは・・・

- ④ テモテ世代の心情理解

一女性が知らせてくれた危険状態（拙著「聖なる婚活へようこそ」p.112～）

一男性からのおたより（「教職に伝えたいことは？」への応答）

3. 問題の原因は？

・男性クリスチャンの少なさ：中学入学→高卒後→社会人とステージごとの減少

・男性青年の自立不足、社会不参加傾向

自立不足の信徒と自立した未信者に二極化？自立に向けて育てているか？問われる家庭教育

・結婚に対しての疑問、不信、失望、両親夫婦、先輩夫婦が実物教材？既婚者への結婚教育は？

・男性たちの著しい草食化（SNSとメディアの影響）

二次元萌、ポルノによる性の壊れ、コミュ力低下、考えたい恋愛指導、性教育等の教育

・女性の生き方の激変（80年代指導の崩壊）

退職→結婚→専業主婦で育児→信仰継承→福音宣教、教会が現代女性に示す聖書的指針は？

※「結婚しない問題」「結婚できない問題」は、問題ではない！

では、何か？

長期的展望での根本的解決は？

4. 当面の対策として

・団体単位の働きが持つ限界

資料交換システムは、ほぼ機能しない現実

他も、リスク回避故に実りは乏しくなりがち（傷つく体験は、結婚に至るために必須）

発案から実行までの所要年数がかかる

女性が安心できる男性の絶対数の問題、好ましい男性が結婚すると働きも停止、継続的結実が困難、中途半端で乏しい結実に。

各個教会レベルでの徹底した意思統一と実行があれば、発展性も

・福音派諸団体での実践例と展望

ルーツが共通する他団体と合同で出会いの場（未知の異性との出会いが）

有料支援団体への委託（教育と紹介）

有料支援団体との協力（多様な形態）

同一神学校、JEA枠などでの団体間協力

出会いの場は、直接的結実が少なくても、間接的結実を期待（別ルートでの結婚事例が多数）

将来は、健全かつ安全なスマホアプリが登場？

5. 結論とアピール

テモテ世代を愛し、ご理解を。
その上で、テモテ世代に対して機能する具体策を。
長期展望に立つての教会教育の充実を。